



### 報告

- 国際シンポジウム「女性政治リーダーはいかにして『育つ』か？」開催(6月30日)
- 学部授業「お茶の水女子大学論」ロールモデル講演(1回・2回・3回)
- 梨花女子大学校を訪れて(韓国、5月29日)
- 特別招聘教授カレン・シャイア先生の任期満了とお別れのご挨拶

### 予告

- 後期開講授業のお知らせ(グローバルリーダーシップ研究所関連)
- 株式会社ブリヂストン見学会のお知らせ(9月5日)

## 国際シンポジウム「女性政治リーダーはいかにして『育つ』か？」開催(6月30日)

2018年6月30日(土)に、グローバル女性リーダー育成研究機構 グローバルリーダーシップ研究所(IGL)・ジェンダー研究所(IGS)が主催する国際シンポジウム「女性政治リーダーはいかにして『育つ』か？」が開催され、約500名が参加しました。はじめに室伏きみ子学長より開会挨拶、猪崎弥生理事・副学長・グローバル女性リーダー育成研究機構長より本シンポジウムの趣旨説明がありました。第1部は、野田聖子氏(総務大臣、女性活躍担当大臣、内閣府特命担当大臣、衆議院議員)、陳善美(チン・ソンミ)氏(韓国国会議員、弁護士)による基調講演、第2部はパネルディスカッションで、円より子氏(元参議院議員、女性のための政治スクール 校長)、ヨハンナ・ウッカマン氏(独・社会民主党常任理事、元党青年局全国代表)と陳善美(チン・ソンミ)氏が登壇しました。フロアとの質疑応答の後、小林誠グローバルリーダーシップ研究所長から閉会の挨拶がありました。パネルディスカッションの司会は本学ジェンダー研究所申瑛瑩(シン・キヨン)准教授、総合司会は本学グローバルリーダーシップ研究所大木直子特任講師が務めました。



野田大臣の基調講演



陳議員の基調講演

野田大臣は、様々な分野における男女共同参画に関する日本のデータの紹介とともに、ご自身の政治家としての経歴や女性活躍・男女共同参画担当大臣に就任した経緯や理由、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律制定と女性の政治参加促進への期待などについてお話くださいました。陳議員からは、政治家を志したきっかけ・転機や、比例代表制選挙(1期目)から小選挙区制選挙(2期目)への挑戦の様子、韓国のクォータ制度(一定

数を女性に割り当てる制度)の概要などの説明とあわせて、女性議員増加のための改革についての提言をいただきました。第2部のパネルディスカッションでは、まず、円氏、ウッカマン氏からご自身の政治活動や女性政治リーダーを育てるための実践、女性政治家として直面してきた数々の経験についての発表がありました。また、アメリカハーヴァード大学ケネディスクール「女性と公共政策プログラム」事務局長であるヴィクトリア・バドソン氏からいただいた大学における女性のリーダーシップ養成プログラムについてのビデオメッセージを上映し、その後、司会の申准教授を交えて、4人によるパネルディスカッションを行ないました。

政治活動に携わるようになった経緯や政治家としてのやりがい、女性の政治参加促進のための制度や取組、若い世代に政治に参加してもらおうための実践例などについて活発な議論を展開してくださいました。質疑応答では、多くの参加者から質問が寄せられ、さらに議論を掘り下げることができ、大変充実したシンポジウムとなりました。

文責：大木 直子(お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所 特任講師)



パネルディスカッションの様子



総合司会の  
大木特任講師



パネルディスカッション司会の  
申准教授



会場の様子

## 学部授業「お茶の水女子大学論」 ロールモデル講演（1回・2回・3回）

授業「お茶の水女子大学論」内で開催したロールモデル講演会の、第1回から第3回までの卒業生からのメッセージを一部紹介します。  
編集：大持 ほか(グローバルリーダーシップ研究所 アカデミック・アシスタント)

学生時代から、授業・サークル活動・アルバイトに対して、全力投球の姿勢で臨みながら、社会人になってからも役に立つようなスキルを培ってきました。素の自分となることで相手との信頼関係を築けるよう、今でも心がけています。

就職先を選ぶ時に、特に重要となるのは「自分の軸を持つ」ことだと思います。自分がこれから何を大切に生きていきたいか、という軸を持つことは、社会人として働き続ける上でも大切なことです。

当社では、転居先への異動を希望する1ターン制度や仕事と育児の両立をサポートするための短時間勤務制度などの各種制度が用意されていますが、仕事と家庭の両立においては制度を活用するだけではなく、まず自分はどうのように働きたいかを考えた上で、自分にとっての仕事・育児・プライベートのバランスを保つことが大切です。また、与えられた環境を味方につけること、例えば配偶者にも当事者として主体的に育児に関わってもらうことに加え、親族や職場の上司・同僚に対しても、日頃からいざという時に力となってくれるような人間関係を築いていくことも、安定的に仕事と育児を両立する上では大切になります。そして、時間は努力して生み出すものと考え、1日24時間という万人に平等に与えられた時間を有効に活用することで、自分のキャパシティが広がり、さらなる成長につながると考えます。

最後に、皆さんも、是非新しい環境に飛び込んで、新しい出会いを求めていってください。多様な価値観に触れることは、自分の人生を主体的に生きることにも繋がると思います。

(2001年文教育学部・英文卒)

学部時代は、インカレ・登山サークルや、阪神淡路大震災などでのボランティア活動をしていました。大学院では、情報の可視化について研究しました。

就職先でも大学で学んだ知識を活かしたいと考えた私は、日本経済新聞社に入社しました。本社を選んだ理由としては、新聞社のなかでも経済に特化し、記事だけではなく経済データも豊富に保有していることが挙げられますが、日経で働く人に魅力を感じたことも大きな理由です。

就職後は、主に技術系の仕事、具体的には本社の記者が使う記者用ソフトのような、新聞を作るシステム作りや、ネットサービスの担当をしてきました。現在は、日経電子版とNikkei Asian Reviewに携わっています。海外との会議も行われるようになり、益々デジタル&グローバルが求められています。これからは、英語で何が出来るかが大事だと思います。

これまで真面目に取り組み、何事も経験と考えてチャレンジすることにより、適応力も増したことが、キャリア形成の上で役立ちました。皆さんも、「土台」ややりたいことを大事にしてください。自分が「土台」つまり資質を持ちながら、勉強しつつ社会に適応していくこと、変わることに躊躇しないことが大切だと思います。

(1997年理学部・情報卒/1999年同大学院修了)

### 第1回 (5月16日)

東京海上日動火災保険株式会社  
損害サービス業務部 業務グループ  
中澤陽子さん



### 第2回 (6月6日)

株式会社 日本経済新聞社  
デジタル事業 BtoCユニット 編成グループ部次長  
兼グローバル事業局  
倉持陽子さん



### 第3回 (6月13日)

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ  
営業統括本部  
マリッジ&ファミリー領域営業統括部  
総合企画部 企画開発3グループ  
広石真珠子さん



写真1：ロールモデル講演1（5月16日）の様子  
写真2：ロールモデル講演2（6月6日）の様子  
写真3：ロールモデル講演3（6月13日）の様子

学生の頃は、今からキャリアなんて考えられない、学歴があれば何とかなる、と考えていました。しかし、色々と経験してきた今は、「きちんと考えたら人生はきっと変わる」ものであり、人生に早いも遅いもなく、「考えて行動した時間は人を素敵にする」だろうと思います。

最初に就職したみずほ証券株式会社では、約3年仕事を続けました。しかし、本当に目の前のお客様のためになっているのか、やりたいことが見つかった時に、それができるスキルがこの職場で身につけているのかを考え直していく内に、転職を決めました。

転職の際、私が会社選びの判断軸としていたのは、社会人としての基礎を学び直せる、めざす姿や自分たちの存在価値

を感じ、信じられる会社で働くこと、自分で考えて自分が良いと思ったことを一生懸命できる環境という点でした。現在、勤務する株式会社リクルートマーケティングパートナーズでは、この判断軸に合致した仕事が出来ています。

ぜひ皆さんは、手段が目的化しないように、常に目的を考えて行動してください。自分が強くやりたいと思っている何かをしてみる経験も、学生の内にやってほしいことの1つです。そして、自分の大事にしたいものは何か、考えてみてください。

(2011年生活科学部・生社卒)

## 梨花女子大学を訪れて（韓国、5月29日）

2018年5月29日、猪崎弥生グローバル女性リーダー育成研究機構長、金富美特任アソシエイトフェローとともに、**韓国の梨花女子大学**を訪れた。グローバルリーダーシップ研究所が今年度後期から進めることを考えている共同研究についての打ち合わせのためである。約束時間より少し前リーダーシップ研究センターをのぞいてみると、**趙成南教授**たちがすでに会議の用意を終えて待ち受けてくれた。趙先生は、昨年度グローバルリーダーシップ研究所が開催した国際シンポジウム「アジアにおける女性のリーダーシップ」にディスカッサントとして参加していただくなど、かねてから私たちの研究の重要な協力者である。これから**3年間の共同研究**のカウンターパートナーとなる**リーダーシップ研究センターの所長**も務めている。ついで紹介されたのは、**成芯娘梨花女子大学校リサーチフェローと全美珍ネモパートナーズ副社長**である。成先生は心理学、金先生は経営学の博士号を持っている。共同研究の中心となる人物だ。彼女たちと、**アジアにおける女性リーダーシップのモデル構築とインデックス作成**について、国際シンポジウムや研究会の開催、報告者や研究書の出版、インデックスの打ち出しといった研究内容を、経費の使い方や年次進行を確認しながら話し合った。この間、授業時間の合間に、共同研究の協力者となる**曹日鉉キャリア開発センター長**、

**李根柱研究協力所長**が挨拶に来てくれた。

おおよその原案の合意ができ、これからの具体的な契約書作成の手順を確認した後、趙先生の手招きで訪れることができたのは**金惠淑総長**のお部屋である。金先生は哲学の研究者であるがジェンダーや美術の領域もカバーしており、**2019年1月に開催を予定しているお茶大での研究機構の国際シンポジウム**にゲストスピーカーの一人として来ていただけることになった。

グローバルリーダーシップ研究所はセンターから改組して研究所になって3年少々が経過した。シンポジウムや研究会などのほか、実にさまざまな女性支援の事業を展開しているが、それと重ねて本格的な研究成果を打ち出すべき段階に来ている。女性リーダーシップの研究で先行している梨花女子大学校との提携はその大きな支えとなるだろう。

文責：小林誠、グローバルリーダーシップ研究所長

## 特別招聘教授カレン・シャイア先生の任期満了とお別れのご挨拶

2016年後期から本学で教鞭をとっていた特別招聘教授のカレン・シャイア先生が、この9月に任期満了のため本学グローバルリーダーシップ研究所を離れます。シャイア先生は大学院授業「ジェンダー論特別講義」(Special Lecture in Gender Theory)や「男女共同参画国際演習 I・II」(International Seminar for Gender Equality I・II)を担当してきました。シャイア先生からお別れのことばをもらいましたので紹介します。

Specially Appointed Professor Karen Shire offered two graduate school courses in the past year. Promoting Women in Global Leadership – A Comparative Perspective in the winter 2018, focused on comparing reforms for achieving gender balance in the sectors of politics, the economy, universities and scientific organization, the media, in non-governmental and in international organisations. In the spring semester 2018, the course Comparing Gender Equality in Asia and Europe covered progress in achieving gender equality in Asia and Europe, with a focus on social policy, the employment system, education and the family. Together with researcher Dr. Kayo Onishi, Shire constructed a data bank on women's leadership in Japan, covering social organizations and the media, as well as more frequently discussed areas of politics and the economy. Teaching and researching at the Institute for Global Leadership, Shire has enjoyed contact with graduate students, many of whom return from work and professional life to study theories of gender relations at Ochanomizu University. Her research about gender balance in leadership will inform a number of future publications and projects to compare the institutions in Europe and Asia which

improve gender equality and support the advancement of women into leadership.

Karen A. Shire  
Full Professor and Chair of Comparative Sociology  
and Japan Studies,  
University Duisburg-Essen, Germany



Feb. 2017  
Special Lecture in  
Gender Theory



Dec. 2017  
International  
Symposium of  
the IGL



2018 Spring  
International Seminar for Gender Equality I

## 後期開講授業のお知らせ（グローバルリーダーシップ研究所関連）

グローバルリーダーシップ研究所では、2018年度後期に以下の授業の開講を予定しています。学生の皆さんの積極的な受講を歓迎します。＊入学年度によって科目コードが異なりますので注意してください。

授業名	開講時期	内容
女性のキャリアと経済[18N0092] ／女性リーダーへの道(ロールモデル入門編) [18N0003]	火曜 9・10限	経営・金融・公的機関など第一線で活躍中のゲスト講師の講演から、仕事やキャリア展開を考える授業です。
ファシリテーション[18N0093] ／女性リーダーへの道(実践入門編) [18N0004]	水曜 9・10限	企業から出された課題に対し、チームを組んで理論と実践を通してファシリテーションの手法を身につけるための授業です。
アカデミック女性リーダーへの道(基礎編) [18S0130]	木曜 3・4限	研究(者)倫理と科学・技術に関するクリティカルシンキングを訓練する授業です。
アカデミック女性リーダーへの道(実践編) [18S0132]	集中 (2月頃)	研究申請およびプレゼンテーションの知識やスキルを高める授業です。
グローバル女性リーダー特論(応用編) [18S2011]	集中	外資系コンサルティング会社のアクセンチュア株式会社と協力して行う授業です。多様な働き方やグローバル人材について学びます。
International Seminar for Gender Equality II [18S0260]	水曜 3・4限	CHASING MADAME BUTTERFLY: THE GENDER OF JAPONISME This class explores Madame Butterfly narratives from the late 19th century to the present. We examine fiction and stage productions, but also discuss art and photography, fashion, and major cultural events.

## 株式会社ブリヂストン見学会のお知らせ（9月5日）

お茶の水女子大学と芝浦工業大学の女子大学生・女子大学院生を対象に、株式会社ブリヂストンの見学会を以下の日程で開催します。興味のある学生は参加申込みをしてください。

【開催日時】 2018年9月5日(水)

集合 12:45 解散 17:30

【集合】 12:45 **ブリヂストンTODAY館**

東京都小平市小川東町3-1-1

(西武国分寺線／西武拝島線小川駅 東口より徒歩5分)

【定員】 30名(先着順)

【申込】 以下のURL又はQRコードから申し込んでください。

<https://crdeg.cf.ocha.ac.jp/ocha2/Leadership/BS20180905/>

【締切】 2018年8月20日(月)17:00 ※

※ ただし定員に達し次第早めに締め切ります。

【実施内容】

- ・ ブリヂストンTODAY館(タイヤとゴムの博物館)
- ・ タイヤデザイン室／材料分析室の見学
- ・ 女性従業員との懇談会
- ・ インターンシップの説明

【主催】お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所

【協力】株式会社ブリヂストン



前回（昨年度）の様子

【発行元】 国立大学法人お茶の水女子大学 グローバルリーダーシップ研究所

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 人間文化創成科学研究科棟506室

Tel/Fax: 03(5978)5520

E-mail: info-leader@cc.ocha.ac.jp

URL: <http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>